

## 淋しさを誤魔化しきれず

Words & Music by Jun Hara at march 1, 1979

こんな寒いよりも 街の片隅で  
ただ死を待ち望む人がいる

冷たい風が吹き抜け 街行く人達は  
寒そうにコートの襟立て通り行く

冬は心にまで浸みてくる  
淋しさを誤魔化しきれず頬伝う涙が一つ

この街の裏通り 彼が暮らした部屋  
今は誰かが灯を点し住んでいる

行く当てなくこの街を彷徨う 飢えた野良犬のように  
昔のプライドも捨ててかがみ込む

すぎる人がいない彼だから  
温かい一言さえも聞けずに死んでゆく

冬がこの街を白く染め 今年の終わりを告げている  
彼の命とともに